

23区「清掃工場故障週報」平成26年度（工場別）

光が丘清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
47	1号炉	休炉	H26.10.25	17:10	H26.11.3	23:00	1号炉HCL除去設備立上げ作業中、循環ファンの電流値が定格以上になりトリップした。その際、異音・振動もしていたため炉の立ち下げを行った。
23	1号炉	休炉	H26.8.17	10:30	H26.9.20	17:15	減温塔出口側で排ガス圧力の低下傾向が強く、ボイラの閉塞が推測された。さらに炉内圧力を制御する誘引ファン回転数制御値が100%になり運転継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。（※復旧日時は、ボイラ閉塞解除日時）
19	2号炉	休炉	H26.7.25	23:06	H26.8.1	21:05	ボイラ下部ホッパーシュートのロータリバルブ上部点検窓にて、灰の通過が確認できないためホッパーシュートの閉塞が推測された。槌打等を行ったが解除できないため焼却炉を立ち下げた。
17	1号炉	休炉	H26.7.20	12:30	H26.7.28	22:00	ろ過式集じん器[1-4]室のマノメータに差圧が出ないため内部に灰の堆積が推測された。槌打等を行ったが解消されないため、調査のため焼却炉を立ち下げた。

目黒清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
38	2号炉	休炉	H26.9.26	8:00	H26.10.1	15:02	2号炉SGH入口蒸気圧力取出しラインのフランジより蒸気漏れが発生し、これを補修するため2号焼却炉を立ち下げる。

有明清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
69	2号炉	休炉	H27.1.24	2:05	H27.1.29	7:06	ごみホッパブリッジが疑われたため、解除装置にて解除を試みたが復旧しなかった。解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
13	1号炉	休炉	H26.6.18	14:30	H26.7.9	7:31	2号炉定期点検中に、循環ファン軸封パッキンの脱落及び摩耗が見られた。1号炉当該機器については、現場調査を行うなどし様子を見ていたが、同様の事象が発生していることが予見されたため焼却炉を立ち下げた。
5	2号炉	休炉	H26.4.28	13:56	H26.4.30	7:50	機器冷却水高置水槽（2）測定値下限が発報し、現場確認をしたところ、冷却水槽レベル発信器に接続する配管が折損していた。修理のため2号炉を下下げた。

千歳清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
70	1号炉	休炉	H27.2.3	1:28	H27.2.9	15:25	No.1ボイラダストコンベヤが過トルクで停止した。正逆転操作を繰り返しても復旧できず、ダストの排出ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
67	1号炉	休炉	H27.1.11	18:08	H27.1.18	0:50	No.2ボイラダストコンベヤが過トルクで停止した。正逆転操作を繰り返しても復旧できず、ダストの排出ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
32	1号炉	休炉	H26.8.8	13:54	H26.9.16	12:12	巡回点検時、後燃焼ストーカロッドシール部ダストブーツに亀裂を発見した。経過を観察していたが、亀裂が拡大し作業環境を悪化するおそれがあるため焼却炉を立ち下げた。
30	2号ごみ クレーン	停止	H26.9.8	22:04	H26.9.10	14:30	クレーン運転中に給電ケーブルの垂れ下りを発見した。ケーブルリール駆動用チェーンの中間軸の軸受が破損していたため、使用を中止した。

23区「清掃工場故障週報」平成26年度（工場別）

江戸川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
83	1号炉	休炉	H27.3.21	21:26	H27.3.24	15:00	No.1冷却液ポンプ吐出側の玉型フレキシブル継手が破孔した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
75	1号炉	休炉	H27.2.27	10:00	H27.3.8	10:49	減温塔入口排ガス圧力が著しく低下し、ボイラの閉塞が疑われるため1号炉を立ち下げた。
73	1号炉	休炉	H27.2.17	20:02	H27.2.19	6:35	No.2飛灰搬出コンベヤが過電流で停止したため、間欠運転及び張り調整を実施したが、復旧できなかった。そのため、(乾)飛灰搬出ラインに切り替えを行ったが、リフトタンク供給コンベヤが過電流で停止し、飛灰を搬出できなくなったため焼却炉を立ち下げた。
63	1号炉	休炉	H26.12.13	6:00	H26.12.26	9:28	1号スートブロワを運転したところ、No.1スートブロワ(長抜き差し型)が過負荷で停止した。調査及び補修のため焼却炉を停止した。
26	T/G	停止	H26.8.29	16:30	H26.9.3	11:55	蒸気タービン入口圧力及び入口蒸気流量に異常が見られ、ガバナアクチュエータの不具合が予想されるため蒸気タービンを停止し調査する。
25	2号炉	休炉	H26.8.21	13:00	H26.9.6	9:22	乾燥ストーカ下空気圧力及び空気流量が徐々に低下した。ホッパシュートの閉塞が疑われるため焼却炉を停止し点検する。

墨田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
3	1号炉	休炉	H26.4.22	23:04	H26.4.30	12:10	監視中、No.1主灰ホッパブリッジ解除渋滞警報が発報。現場点検したところ、点検窓より灰の詰まりが確認された。解除装置にて解除を試みたが、灰の詰まりが解除できないため焼却炉を立ち下げた。

北清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
80	1号ごみクレーン	停止	H27.3.14	17:40	H27.3.26	17:00	ごみクレーン手動運転時、クレーン巻上げワイヤの乱巻が発生した。点検の結果、ワイヤのキंकを確認したため、クレーンの使用を停止した。
45	1号ごみクレーン	停止	H26.10.8	11:00	H26.11.6	13:00	日常点検時、クレーンバケットの油圧シリンダ6本のうち2本にオイル漏れを確認した。現場調査したところ油圧シリンダパッキンの劣化であることが判明したので、クレーンを停止し補修する。

新江東清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
84	2号炉	休炉	H27.3.10	16:15	H27.4.2	18:58	No.1ボイラ下部ホッパ(L側)にて閉塞のおそれがあり、調査及び経過観察してきたが、閉塞が確認され解除が困難なため焼却炉を立ち下げた。
68	3号ごみクレーン	停止	H27.1.17	15:00	H27.2.20	17:00	移動中に走行及び横行ができなくなった。調査の結果、走行・横行コンバータ不良が原因であった。補修のため、クレーンの使用を停止した。
62	3号炉	休炉	H26.10.20	14:30	H26.12.20	15:20	蒸気式ガス再加熱器の本体保温材付近から水がにじみ出ており、現場調査の結果、雨水によるものとしていたが、経過観察にて状況が改善されないため、焼却炉を立ち下げて調査を行う。
61	1号炉	休炉	H26.11.5	13:40	H26.12.13	15:57	蒸気式ガス再加熱器の入口側高圧蒸気配管保温材から水がしたり落ちており、現場調査並びに経過観察していたが、蒸気配管から蒸気漏れのおそれがあるため焼却炉を立ち下げた。
49	2号炉	休炉	H26.10.3	14:00	H26.11.12	19:22	蒸気式ガス再加熱器の保温材付近から水がしたり落ちており、現場調査並びに経過観察していたが、加熱管から蒸気漏れのおそれがあるため焼却炉を立ち下げた。
36	2号炉	休炉	H26.9.18	10:00	H26.9.30	15:12	蒸気式ガス再加熱器の本体保温材付近から水がしたり落ちており、高圧蒸気配管から蒸気漏れの恐れがあるため焼却炉を立ち下げた。
27	2号ごみクレーン	停止	H26.9.2	3:35	H26.10.2	8:30	バケット用電動機の漏電遮断器が動作し、バケットの開閉が出来ないため使用停止する。
12	3号炉	休炉	H26.6.25	14:00	H26.7.4	19:22	蒸気式ガス再加熱器の配管保温材付近から水がしたりおちており、現場調査並びに経過観察していたが、高圧蒸気配管から蒸気漏れの恐れがあるため焼却炉を立ち下げた。
7	共通	休炉	H26.5.31	8:09	H26.6.4	11:46	窒素酸化物除去設備室内のアンモニア濃度が上昇し、インターロックによりアンモニア蒸気発生装置が停止した。復旧が困難なため、稼働していた1号炉及び3号炉を立ち下げた。

23区「清掃工場故障週報」平成26年度(工場別)

港清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
79	1号炉	休炉	H27.3.16	9:00	H27.3.18	9:35	蒸気式ガス再加熱器の蒸気戻り配管から蒸気漏れが発生した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
57	1号炉	—	H26.11.26	0:40	H26.11.26	16:37	ホッパでごみがブリッジをおこし、ごみ供給ができなくなった。解除できなかつたため、焼却炉を立下げた。
56	1号ごみクレーン	停止	H26.11.18	3:02	H26.11.24	16:00	No.1ごみクレーンの自動運転中、重故障警報が発報した。ごみクレーン操作室で確認したところ、バケット用給電ケーブルがたるみ、バケットの爪に絡まっていた。調査及び補修のためクレーンを停止した。
18	2号クレーン	停止	H26.7.25	14:38	H26.7.26	20:00	2号ごみクレーン手動運転中にごみクレーンバケット油圧電動機ブレーカトリップが発報した。現場を確認したところ、バケット給電ケーブルの被覆の損傷を発見した。
15	1号炉	休炉	H26.7.8	10:00	H26.9.6	11:44	蒸気式空気予熱器蒸気配管の破孔音を確認したため、蒸気流量を調整して運転を継続していた。しかし、破孔音が大きくなり、破孔箇所が拡大していることが懸念されるため立下げを行う。
14	2号ごみクレーン	停止	H26.7.5	23:02	H26.7.6	11:00	2号炉ごみクレーン自動運転中にケーブルリール過負荷警報が発報した。現場を確認したところ、現場盤内のケーブルリール電動機のサーマルリレーがトリップしていた。復旧できなかったため使用を中止した。

豊島清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
59	1号炉	休炉	H26.12.5	4:12	H27.2.10	8:02	1号炉が炉内圧力異常高により緊急停止した。また、4時47分に復水タンクレベルが異常低となり、4時52分に2号炉がボイラドラムレベル異常低により緊急停止した。
16	1号ごみクレーン	停止	H26.7.12	5:20	H26.7.14	12:15	バケット上昇中に給電ケーブルが巻き取られなくなったため、クレーンを格納しケーブルを人力で引き上げた。巻上用トルクモータとケーブルリールを結ぶ駆動チェーンを中継する軸の軸受けの損傷が判明した。

渋谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
53	1号炉	休炉	H26.11.11	11:30	H26.11.14	12:12	不燃物排出装置が過電流トリップにて停止。現場にて手動操作、槌打を実施するが回復の見込みがないため、焼却炉を停止した。

中央清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
87	2号ごみクレーン	停止	H27.3.25	15:00	H27.3.29	11:00	2号ごみクレーン電動式ケーブルリール逆回転防止用のラチェットが故障し、クレーンの電源を切った際にケーブルリールの回転を止めることができなくなった。補修のため、クレーンの使用を停止した。
74	1号ごみクレーン	停止	H27.2.20	10:30	H27.2.22	10:30	ごみクレーン運転中に、1号ごみクレーン電動式ケーブルリールがサーマルトリップ氏、巻下げが不能となった。調査及び補修のためクレーンの使用を停止した。
65	2号ごみクレーン	停止	H26.12.28	16:30	H27.1.6	17:30	クレーン点検時に、2号ごみクレーンバケット油圧シリンダ上ピンの破断を確認した。調査及び補修のため、クレーンの使用を停止した。
42	2号ごみクレーン	停止	H26.10.1	17:13	H26.10.8	11:00	2号ごみクレーン格納状態で、リレー盤内のPLCにエラーが発生し動作不能となった。クレーン操作室とクレーン間の通信ケーブルの断線が疑われるため、クレーンを停止し補修する。
33	1号ごみクレーン	停止	H26.9.16	19:34	H26.9.20	14:00	1号ごみクレーンが着地し、バケットが傾いた状態(クレーン操作室から向かって右及び左)でつかみを入るとごみクレーンの電源が切れる。給電ケーブル損傷による故障と思われる。

23区「清掃工場故障週報」平成26年度（工場別）

板橋清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
85	2号炉	休炉	H27.3.22	14:25			ボイラ下ホツパシュートが上部まで閉塞しており、外部からの解除の見込みがなくなったため、焼却炉を立ち下げて解除作業及び点検を行う。
81	1号炉	休炉	H27.3.16	10:00	H27.4.1	9:37	ボイラ下ホツパシュートが上部まで閉塞しており、外部からの解除の見込みがなくなったため、焼却炉を立ち下げて解除作業及び点検を行う。
52	2号炉	休炉	H26.11.4	14:00	H26.11.8	8:20	SGH(高圧側)から脱気器へのドレン配管より蒸気漏れを発見した。仮補修を行ったが、蒸気漏れが止まらないため、抜管補修を行う。
1	1号ごみクレーン	停止	H26.4.14	16:00	H26.4.17	16:00	自動運転中にバケット開閉過負荷の警報が発報。、サーマリリセット後、再度運転を試みたが、すぐに過負荷で停止してしまう。故障原因として、バケット開閉用の油圧ポンプ・電動機の不具合が考えられる。

多摩川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	1号炉	休炉	H27.2.11	0:30	H27.2.24	0:19	ボイラ給水流量調節弁からの漏れが疑われるため、焼却炉を立ち下げ調査する。
39	1号炉	休炉	H26.9.27	8:00	H26.10.7	23:34	1号過熱低減器給水流量計ガスケット部よりボイラ水漏れが発生したため、立ち下げて補修する。

足立清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
78	1号炉	休炉	H27.3.14	11:32	H27.3.18	13:07	漏電により、保安照明電源系統が一時停電になった。速やかに原因箇所を特定し復電したが、同系統にプラント計装用電源が含まれており、一部機器の復旧に時間を要するため1号炉及び2号炉を立ち下げた。
20	2号炉	休炉	H26.7.28	2:25	H26.8.2	13:30	乾燥火格子温度が急上昇した。温度が低下しないことから原因調査のため焼却炉を立ち下げた。
10	1号炉	休炉	H26.6.8	14:00	H26.6.14	13:12	ストーカ下コンベアで未燃物が確認された。火格子脱落が予測されるので調査のため焼却炉を立ち下げた。
8	2号炉	休炉	H26.6.4	20:20	H26.6.10	9:40	二重ダンパ動作不良対応時、ストーカ下コンベアで未燃物が確認された。火格子脱落が予測されるので調査のため焼却炉を立ち下げた。

品川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
72	共通	休炉	H27.2.14	20:08	H27.2.18	11:18	急激な負荷変動によりタービン入口蒸気流量が低下し、蒸気タービン発電機が解列及び停止した。その後、ボイラドラムの液面が下下限となり焼却炉が緊急停止した。
40	2号炉	休炉	H26.9.30	11:00	H26.10.8	13:51	SGH出口排ガス温度の下下限警報が発報したため現場確認したところ、水漏れを発見した。運転中では原因特定が困難なため、焼却炉を立ち下げた。

葛飾清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
77	1号炉	休炉	H27.3.14	18:38	H27.3.19	11:43	主灰搬出装置出口シュート部に異物が引っ掛かり、灰が堆積したため主灰搬出装置が運転不能となった。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
50	1号炉	—	H26.11.4	9:16	H26.11.4	14:35	IDF回転数が制御不能となり回転数が低下したことにより、炉内圧上々限が発報し、焼却炉が停止した。

23区「清掃工場故障週報」平成26年度（工場別）

世田谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
51	2号炉	休炉	H26.11.6	8:26	H26.11.21	16:30	熔融スラグの流下が止まり、燃焼熔融炉温度が低下した。また、スラグ排出コンベヤからの水漏れを確認した。調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。（※復旧日時は、補修完了日時）
48	1号ごみクレーン	停止	H26.11.2	10:36	H26.11.8	16:00	自動運転動作停滞の警報が発報し現場を確認したところ、キャブタイヤケーブルがケーブルリールに巻き取れていない状態であった。調査及び補修のため、クレーンを停止した。
44	2号ごみクレーン	停止	H26.10.12	5:59	H26.10.27	16:00	自動運転動作停滞の警報が発報し現場を確認したところ、キャブタイヤケーブルがケーブルリールに巻き取れていない状態であった。調査及び補修のため、クレーンを停止した。
43	1号炉	休炉	H26.10.12	4:40	H26.10.17	3:15	不燃物磁選機故障が発報し現場調査したところ、電動機は回転するがドラムが回転しなかった。調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
37	1号炉	休炉	H26.9.23	9:21	H26.9.27	9:37	破碎ごみ供給装置に異物が巻き付いたため、逆転操作で解除を試みたが、解除できなかったため、炉を立ち下げ解除する。
35	1号炉	休炉	H26.9.18	13:08	H26.9.21	10:31	ガス化炉空塔部の温度が上昇した。流動層内に針金等の堆積が考えられるので除去のため立ち下げた。
28	1号炉	休炉	H26.9.7	17:53	H26.9.9	9:25	現場点検をしていたところ、シムチェーンのTピンが無くなっていることを確認した。コンベヤピンも外れかけていたため、運転継続が出来ないと判断し、焼却炉を停止した。
22	1号ごみクレーン	停止	H26.8.4	6:21	H26.8.6	11:00	No.1ごみクレーン手動運転時に乱巻警報が発報した。復旧作業をするために運転をしたところ、支持ワイヤ4本中2本が切断した。
21	1号炉	休炉	H26.8.3	16:59	H26.8.9	11:35	破碎ごみ搬送装置が過電流で故障した。現場を確認したところ、コンベヤのスカート部分の脱落を確認した。運転継続が出来ないため、焼却炉を立ち下げた。
9	1号炉	休炉	H26.6.7	6:18	H26.6.14	10:39	破碎ごみ搬送装置が過電流で故障した。現場を確認したところ、コンベヤチェーンの破断を確認した。運転継続が出来ないため、焼却炉を停止した。
6	1号炉	休炉	H26.5.25	9:55	H26.5.28	12:16	破碎ごみ供給装置が過負荷で停止した。現場確認後、再度運転を試みたが装置を運転することができず、ガス化熔融炉にごみを供給できなくなった為、炉を停止した。（現在、原因調査中）
4	1号炉	休炉	H26.4.25	3:19	H26.5.3	10:30	破碎ごみ搬送装置が過電流で故障した為、再度運転したが、運転出来なかった。その為、焼却炉を停止した。
2	2号炉	休炉	H26.4.18	17:46	H26.4.24	8:16	不燃物抜出装置が故障し、ガス化炉から循環している砂の流れがなくなった。改善を試みたが、復旧が見込めないためガス化炉を立ち下げた。

大田清掃工場

故障による休炉なし

板橋清掃工場（灰熔融炉）

故障による休炉なし

多摩川清掃工場（灰熔融炉）

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
24	1号炉	休炉	H26.8.27	5:59	H26.9.1	9:30	水砕水槽よりスラグを搬出するスラグ搬出コンベヤが運転不能となったため、補修するため熔融炉を立ち下げた。

足立清掃工場（灰熔融炉）

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
11	1号炉	休炉	H26.6.24	11:00	H26.6.27	12:20	炉内圧力と集じん器入口圧力の差が大きくなった。煙道の閉塞が予測されるので、調査のため、熔融炉を休炉した。

23区「清掃工場故障週報」平成26年度(工場別)

品川清掃工場(灰溶融炉)

故障による休炉なし

世田谷清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
66	2号炉	休炉	H27.1.7	11:51	H27.1.9	16:00	2号細粒灰貯槽切出装置が過負荷で停止し、灰溶融炉へ主灰の供給ができなくなった。調査及び補修のため、溶融炉を休炉した。
41	2号炉	休炉	H26.9.24	15:19	H26.12.2	11:30	2号主灰乾燥排ガスラインから異臭がした。原因調査のため、溶融炉を停止する。(※復旧日時は、補修完了日時)

中防破碎ごみ処理施設

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
88		休炉	H27.3.27	9:08	H27.4.5	17:06	不燃物抜出装置の閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
86		—	H27.3.25	15:56	H27.3.25	19:02	不燃物抜出装置の閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
82		休炉	H27.3.17	9:00	H27.3.21	0:04	点検時、ボイラ給水ポンプA号機のバランス放水配管ユニオン継手から水漏れを発見した。増締め及びパッキン交換を実施したが、改善が見られなかった。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
76		—	H27.3.10	5:10	H27.3.10	9:51	不燃物抜出装置の閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
64		休炉	H26.12.24	22:41	H26.12.25	19:50	戻し灰コンベヤシュート部配管の閉塞物が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
60		休炉	H26.12.5	23:05	H26.12.10	4:04	戻し灰コンベヤシュート部配管の閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
58		休炉	H26.11.28	22:35	H26.11.30	23:09	戻し灰コンベヤシュート部配管の閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
55		休炉	H26.11.17	22:42	H26.11.19	0:19	戻し灰コンベヤシュート部配管の閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
54		—	H26.11.13	8:25	H26.11.13	16:46	ごみ供給機が閉塞し、炉内へのごみの供給が困難となった。閉塞部の解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
46		休炉	H26.10.26	19:00	H26.10.27	20:06	反応剤貯槽の液面計下部バルブが破損したため、薬品の貯留が困難となった。補修のため焼却炉を立ち下げた。
34		休炉	H26.9.17	7:05	H26.9.25	6:00	不燃物抜出装置に閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
31		休炉	H26.9.2	5:30	H26.9.3	2:03	飛灰搬出装置のコンベヤ部に灰による閉塞が確認された。解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
29		休炉	H26.9.6	9:51	H26.9.6	12:23	砂循環装置の炉砂投入口に不燃物が堆積し、砂の循環が停止した。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。